

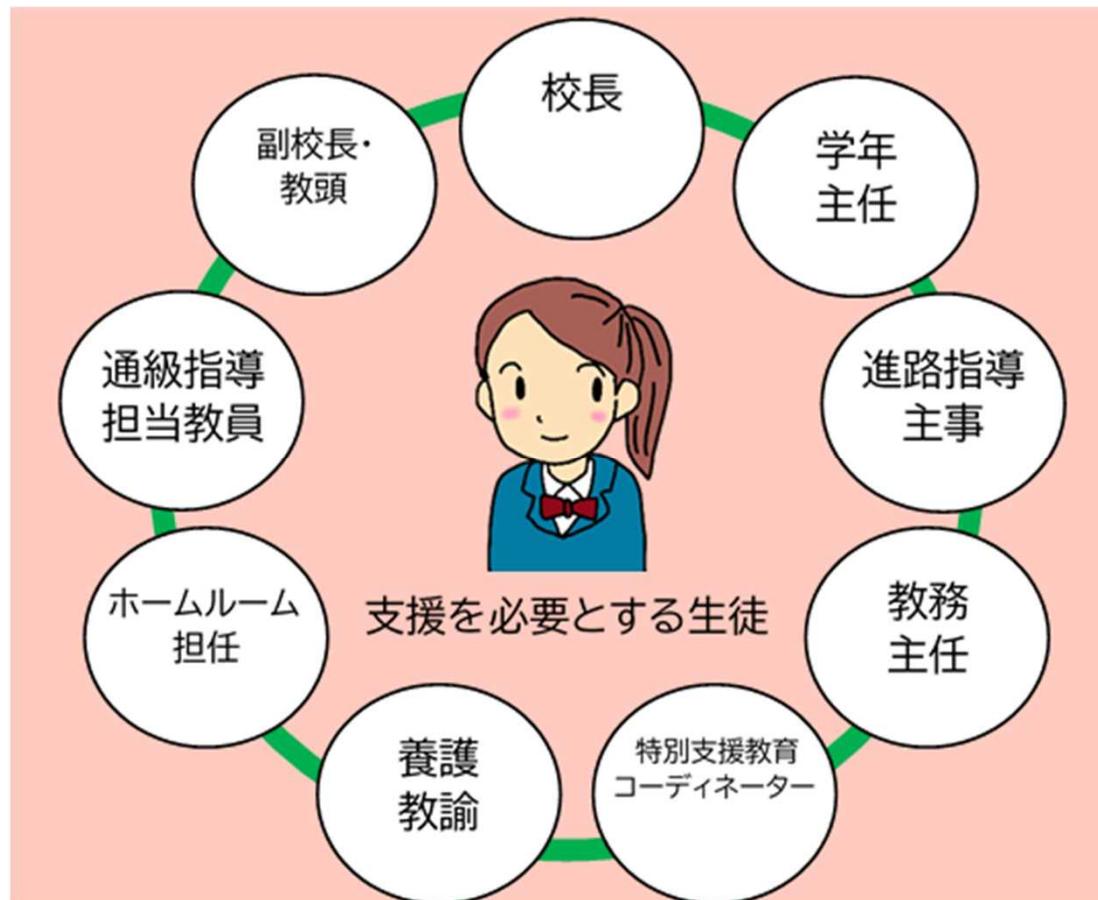
校内研修

「高等学校における通級による指導」

具体的指導内容編

校内委員会

役割の確認・組織的な支援



生徒や保護者との面談



ホームルーム
担任



特別支援教育
コーディネーター



通級担当教員

複数で対応

通級による指導について丁寧に説明

個別の指導計画の作成

教科等	担当者	できていること、得意なこと	できていないこと、苦手なこと
国語総合	佐藤	・分からない漢字にルビを振ったり、長い文章には/を引いて区切ったりと、自分で読みやすいよう工夫している。	・形の似た漢字の読み間違いがみられる。 ・文章表現に平仮名が多かったり、形の似た漢字の間違いが多かったりする。
世界史 A	鈴木	・小テストでは、図や表から読み取る問題は、正答率が高い。	・板書に時間が掛かる。 ・教科書の内容を理解することが難しい。
数学 I	高橋	・個別に目の前で解き方を示すと、因数分解することができた。一度解き方を覚えると正しく解くことができる。	・文章問題の理解が難しい。
化学基礎	田中		・元素記号に間違いが多い。 ・学習中にぼーっとしていることがある。
生物基礎	伊藤	・教科書の写真を見ながら、細胞の構造を丁寧にスケッチすることができる。	・板書に時間が掛かる。漢字を間違えて書いていることがある。
体育(保健)	渡辺		・ノートを確認すると、途中までしか書かれていない。(保健)
美術 I	山本	・静物画では、時間が掛かるが丁寧に作品を仕上げている。	
コミュニケーション英語	中村		・英単語を発音の通りにローマ字読みで書いてしまうことがある。 ・英文の内容の理解が難しい。
家庭総合	小林	・作り方を表した写真を何度も見て確認しながら、グループの友達と協力し、調理をすることができる。	
社会と情報	加藤	・パソコン、タブレットの操作に慣れている。	
学級での様子	吉田	・遅刻や欠席をすることは少ない。 ・身だしなみが整っている。	・教科担当から課題の提出が遅くなることが多いと指摘がある。
保健室	佐々木	・時々、昼休みに頭が痛いときがある。午後の授業が始まる前に自分から教室に戻る。	
部活動(美術部)	山口	・休まず部活動に参加し、時間いっぱい集中して絵を描いている。	

複数の教員による生徒の情報収集



ホームルーム
担任

個別の指導計画の作成

自立活動の「個別の指導計画」

伊達社高等学校

学年・番号	生徒氏名	ホームルーム担任	作成者
1年 C組 27番	通級 マリ	林	松本, 吉田
作成日	前期評価日	後期・学年末評価日	
令和〇年6月15日	令和〇年9月15日	令和△年2月15日	

生徒の願い	在学中	高校生活に慣れ、勉強したり、友達をつくったりしながら成長したい。
	卒業後	デザイン関係の仕事とパティシエに興味があるが、まだ悩んでいる。
保護者の願い	在学中	新しい環境に慣れ、楽しく学校生活を過ごしてほしい。
	卒業後	本人に合った職業や進学先を決定してほしい。
伸ばしたいこと 改善したいこと		<ul style="list-style-type: none"> 教科書にある分からない漢字にルビを振る、長い文章にスラッシュ(/)を引く等、習得した学び方を生かして文章を読むことができる。(健・環) 友達の動きを模倣したり、完成図等を見て制作したりすることができる。(心・環) パソコンやタブレット端末の基本的な操作に慣れている。(心・環) 全体の中から注目すべき場所を選択して見ることができるようになる。(心・環) 学習に使用する漢字や英単語を理解し、語彙を増やす。(健・心・環) 自分に合った学び方を習得し、漢字や英単語を正しく使って文章を書くことができる。(健・心・環)

年間指導目標	<ul style="list-style-type: none"> (1)自分に合った学び方を習得し、中学校 1 年生程度の漢字、綴りの似た英単語を正しく読み書きすることができる。 (2)タブレット端末の使い方を習得し、漢字表記の文章を正しく読み書きすることができる。
--------	---

	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション
指導項目	1-(4)	2-(1) 2-(3)		4-(2) 4-(3) 4-(4) 4-(5)		

通級指導教室での指導内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)漢字の構成要素に注目し、漢字を正しく読み書きする。 (2)綴りの構成要素に注目し、英単語を正しく読み書きする。 (3)タブレット端末を活用し、漢字表記の文章を正しく読み書きできる方法を習得する。
学級における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> (1)定期考査ではルビ付きの用紙を使用する。 (2)教科書の読めない漢字や英単語は教師が読み方を教えて、本人がルビを振るようになる。 (3)「チョークで囲んだ所は大事なポイントなので、そこだけ書き写す」というルールを決め、書き写す文字の量を減らしたり、板書の写真をプリントして渡し、ノートに貼ったりできるようにする。 (4)家庭で取り組む課題が多い時は、タブレット端末やパソコンを使って書き、印刷したものをノートに貼って提出することも認める。(どちらの方法で行うかは本人に選択させる。)

生徒や保護者の意向

保護者の承諾



通級担当教員



特別支援教育
コーディネーター



ホームルーム
担任



具体的な指導内容

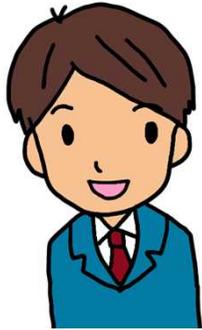
「相手の感情を読み取る」

表情カードや写真



やりとりをロールプレイ





具体的な指導内容

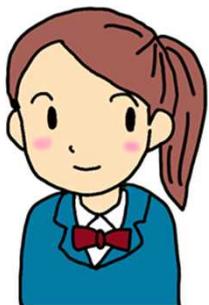
「ルールを守りながら会話」

関わりの振り返り

テーマを決めて会話

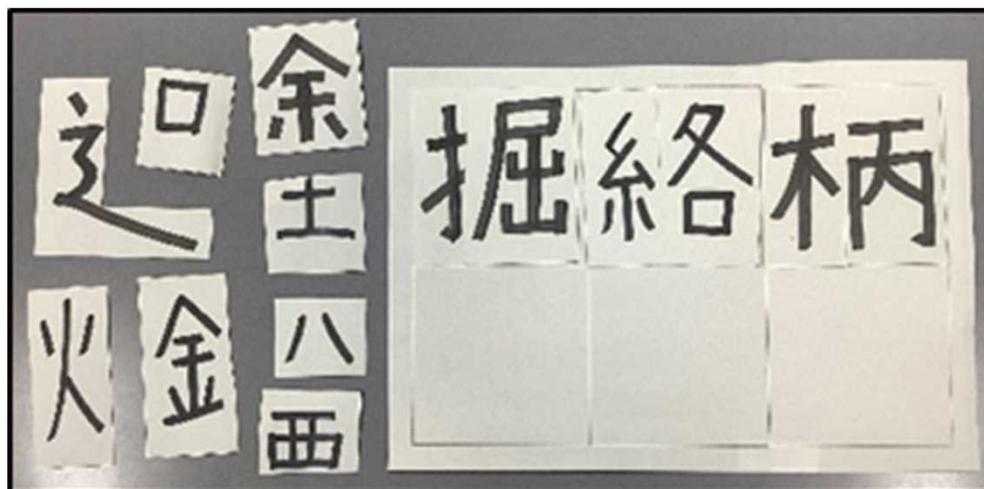
コミュニケーションチェック表		
	できている	できていない
順番に話をする		✓
途中で口を挟まない		✓
分からなかったらもう一度聞く		✓
相手の意見を否定しない		✓
聞いている時は相手の方を見る	✓	
親しい人でなければ、踏み込んだ話をしない		✓

好きな食べ物	マイブーム	将来の夢
最近うれしかったこと	昨日家で行ったこと	ほしいもの



具体的な指導内容

「自分に合った学習方法を身に付ける」

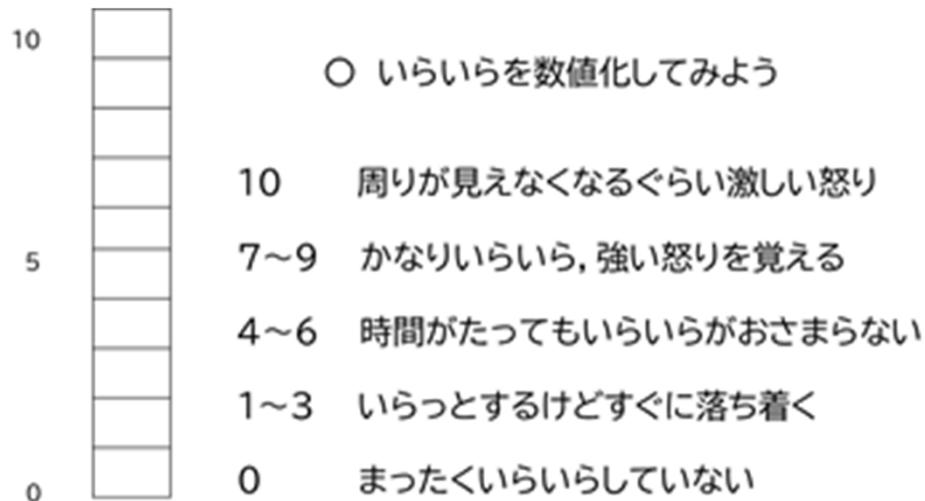




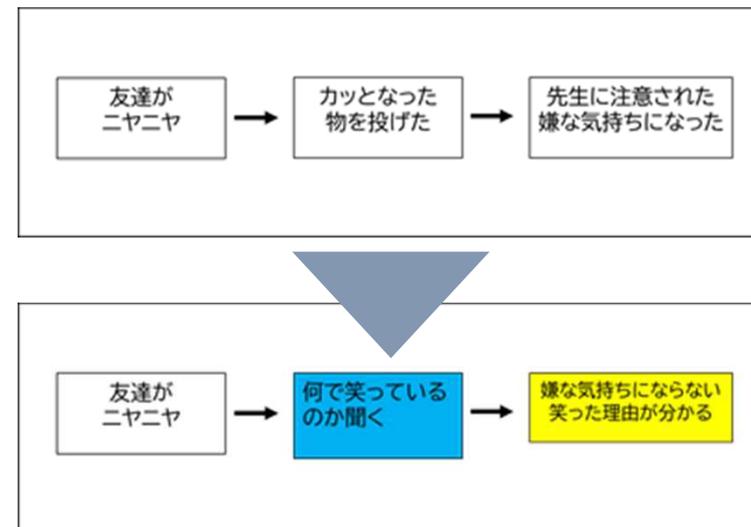
具体的な指導内容

「自分の怒りに対する理解」

怒りの数値化



代替行動





大切にしたいこと

自己理解を促す

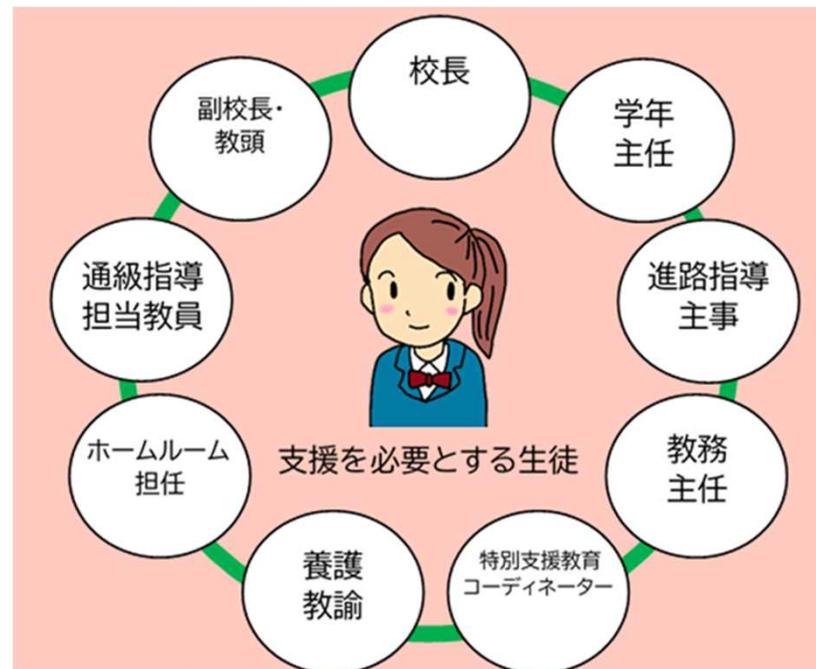
自己決定の機会を設定する

自己肯定感を高める

次年度に向けて

指導内容の検討

特別の教育課程の編成



大切なこと



全教職員が連携した指導や支援

高校通級スタートパック

- 1 通級による指導を**理解する**
- 2 具体的指導内容を**イメージする**
- 3 通級による指導の**展開例**
- 4 校内支援体制を**整備する**
- 5 新たな道を拓く**進路指導**
- 6 すぐに活用できる**資料**

